

進路たより

NO. 1

今年度、進路を担当することになりました、高橋晋作と申します。これから、いろいろな進路・進学についての情報が集まりましたら、ちょっとした雑感とともに、このプリントでお知らせしたいと思います。最後には、返信の欄も設けましたので、感想や進路について知りたいことなど、何でも構いませんので、できましたら一筆お願いします。

進むべき路

昨年は、半年間Y大学におりました。久しぶりの大学は、私の頃とは相当様変わりしていました。3月は、大学にとって、比較的ゆったりとした時期なのですが、キャンパスには、リクルート姿の大学生がたくさん歩いています。みんなまだ3年生（Y大学は4年制大学）なのですが、もう就活（就職活動）が始まっています。

私が学んだ研究室には、大学院生（大学を卒業してもう2年修士課程をとるために学ぶ人）が2人おりました。その中のお一人は、女性でKさんと言います。彼女は秋田県出身で、将来は教員になりたいという夢を持って、6月の教員採用試験の勉強を一生懸命に行っていました。時々、採用試験の模擬問題を、私に教えて欲しいと聞きにくるほど熱心な人でしたね。

「秋田県はなかなか、採用枠がなくて、東京都を受検するか迷っているんです。でも、秋田の両親は、秋田に戻ってきてくれって言っているので・・・。」

そんな話を、私にしてくれます。

自分の夢と現実。その両方で悩むのは、人間一生続くのかもしれませんが。

最近、家の書棚から久しぶりに一冊の本を手にししました。宮沢賢治の詩集です。

けふのうちに

とほくへいってしまう わたくしのいもうとよ

みぞれがふって おもてはへんにあかるいのだ

（あめゆじゅとてちてけんじゃ）

うすくあかくいっそう陰惨な雲から

みぞれはびちょびちょふってくる

（あめゆじゅとてちてけんじゃ）

これは、宮沢賢治が妹のトシを看取る際につくった『永訣の朝』という詩です。

（あめゆじゅとてちてけんじゃ）という言葉は、岩手の方言で「賢治兄ちゃん、雨雪をとってきてちょうだい」という言葉なのです。雨雪はみぞれ雪。宮沢賢治は妹のこの願いを聞いて、鉄砲玉のように戸外に飛び出し、松の葉に積もっている雪をおわんに入れて何度も持ってくるのです。妹が、（あめゆじゅとてちてけんじゃ）と言う度に、妹の

ために、何度も何度も繰り返すのです。

でも、そのうちに、あることに賢治は気づいたのです。妹のトシは、みぞれ雪が欲しいから、兄にお願いしているのではないのだと。賢治は、次のように書いていました。「死ぬというときになってまで、私を明るくしてくれるために、おまえは私に頼んだ。」と。

自分のいる死という暗い、陰惨な事実の世界から、少しでも、兄だけは明るい世界に向かわせ、兄の心を明るくさせたい。(あめゆじゅとてちてけんじゃ)という言葉には、そんな妹が兄を思う願いがあったのです。

家族の愛というのは、こんな最期の別れのときにさえあらわれるのだなあと思うのです。

考えると生と死は、究極の進路なのかもしれません。進路とは、進むべき路なのです。進路で悩んでいるKさんも、決して自分の夢だけをみているのではなく、郷里に住む年老いた両親のことと天秤をかけながら考えていました。

今年は、3年生にとって、いわずとした進路選択の大事な年となります。どこかで、親も子どもも、互いのことを考えながら、その中で進むべき路を見出して欲しいのです。

私が大学を離れる日、Kさんが私にプレゼントをくれました。袋をあけると、秋田名物の“稲庭うどん”です。郷土への愛も、進路決定には重要な点なのです。

進路情報

平成22年度Y県公立高等学校入学選抜の日程が発表されました。

1. 推薦入学選抜の日程

- | | |
|----------|---------------|
| (1) 面接等 | 平成22年2月9日(火) |
| (2) 合格内定 | 平成22年2月16日(火) |

2. 学力検査等及び合格発表の日程

- | | |
|----------|---------------|
| (1) 学力検査 | 平成22年3月10日(水) |
| (2) 適性検査 | 平成22年3月11日(木) |
| (3) 合格発表 | 平成22年3月17日(水) |

※適性検査とは、音楽科や体育科などで実施される実技試験です。

----- きりとりせん -----

ご意見・ご感想をお願いします。

Shinyatk1616n@yahoo.co.jp